

リンク集でとりあげたサイトの上手な使い方

学校の中でも外でも、利用できるサイトや図書館はたくさんあります。

便利な利用法を身につけて上手に利用しましょう。

それぞれのサイトについて、すこし詳しくご紹介します。●例えばこんなとき、



わたしたちと同じように女子校に通う高校生って、東京都内に何人位いるの？

調べられるの？



●リサーチ・ナビ

調べ方がわからないとき、リサーチ・ナビは、キーワードで検索できるので便利

です。



ここにおもいつくキーワードを入力します。いろいろ入れて試すこと。探しているものに近いものが出てきます。

ここでは「東京都△生徒数」と入れて、調べ方案内「教育統計」という記事を読んでみることにしました。

例にあげられている国の「学校基本調査」(都道府県別)では、男女別生徒数はありますが、女子校の生徒数はありませんでした。



リサーチ・ナビの次のリファレンス協同データベースというページには、「東京都内の各高等学校別 (公立、私立) の生徒数を一覧できる資料はあるか」という質問に、図書館が回答した例がでています。

それによると、『全国学校総覧』(公立編・私立編)に都内の高等学校の一覧があり、生徒数がついているようです。

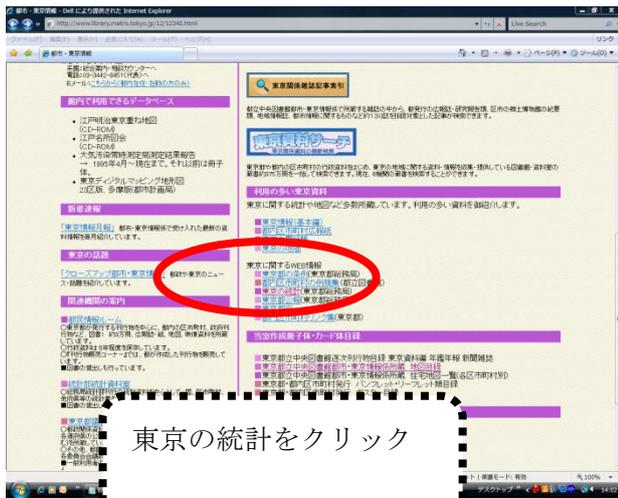
図書室には2001年版があるので見てみましょう。知りたい答えがのっていました！女子校には♀印がついています。

でも、最近の生徒数が知りたいですね。

●都市・東京情報コーナー

それでは、都市・東京情報コーナーから東京都の統計をまとめて

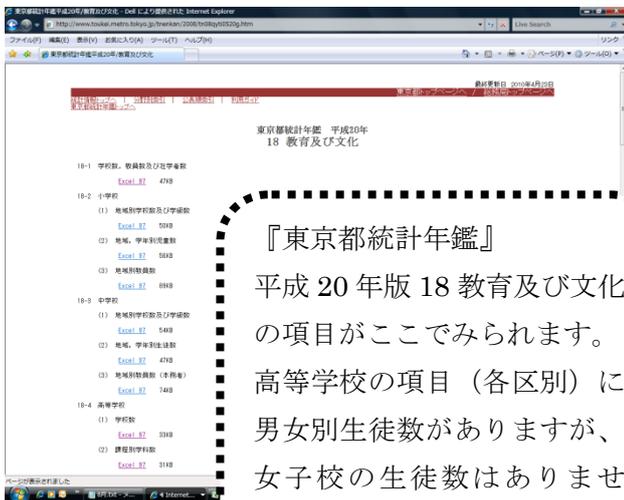
公表しているサイトに行ってみましょう。



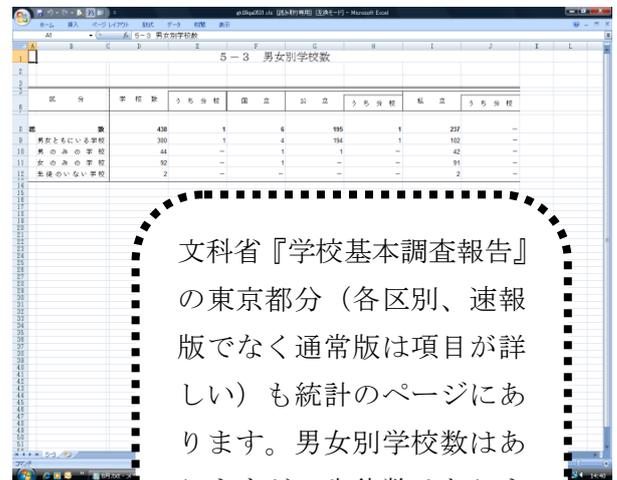
東京の統計をクリック



分野別索引の 20 教育、文化、生活をクリック



『東京都統計年鑑』平成 20 年版 18 教育及び文化の項目がここでみられます。高等学校の項目（各別）に男女別生徒数がありますが、女子校の生徒数はありません。残念！



文科省『学校基本調査報告』の東京都分（各別、速報版でなく通常版は項目が詳しい）も統計のページにあります。男女別学校数はありますが、生徒数はありませんでした。残念！



やっぱり、のっている本は『全国学校総覧』だね。

どこにいったら、最新版が見られるかな？

ひとやすみ



●東京都立図書館横断検索

読みたい本（今回は『全国学校総覧』）が決まったら、どの図書館が所蔵しているかを調べます。公立図書館には相互の協力体制があるので、最寄りの図書館から、その資料を貸出してもらえます。



画面の指示どおり、検索値を入力。検索結果が表示されます。世田谷区立中央図書館に2010年版があります。やった！！



貸出のための登録の方法などは、検索画面の各区の表示をクリックすると各図書館のHPにリンクしているのですぐわかります。

いろいろ試してみてください。
思わぬ発見があるかもしれません。